

# 令和6年度 福寿荘事業報告

## 1. 概要

知的障害者を受入れ、安全で健康かつ安定した生活を保障する中で、一人ひとりの特性やニーズを的確に把握し、個別の支援計画に基づき適切な支援・援助を行った。また、社会生活(地域生活)に必要な知識技能、態度の習得に努め、豊かな人間性を養い、成長向上をはかり、社会的自立をめざした。

感染症感染防止に取り組み、手指の手洗い、アルコール消毒に努め、また食堂利用や活動にあたっては「3密」を回避し実施した。なお、集団感染が発生時には、感染拡大防止に努めて「感染症対策委員会」に基づく対応を行い、運営継続を講じた。

また、適切な支援の取り組みとして、「虐待防止のための指針」及び「身体拘束適正化のための指針」を定め、虐待防止委員会や身体拘束適正化検討委員会により虐待防止に努めた。

## 2. 施設運営

(1) 職員構成(令和7年3月31日現在)

( )…非常勤職員別掲

荘長	サビ管	事務員	支援員	看護師	栄養士	嘱託医	計
1	1	2 (兼務)	11 (1)	1	1	(1)	17 (2)

(2) 会議

会議名	内 容	実施日	構 成
運営会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設運営全般について連絡・協議</li> <li>年間計画、方針の調整</li> <li>体制全般に関する連絡調整、問題解決</li> </ul>	随 時	荘長、課長
全体会議	業務及び支援全般に関わる検討協議	毎月1回 第3木曜 日	全職員
支援会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>各班の連絡調整</li> <li>支援内容の相互確認・検討・進展</li> <li>入所者の福祉向上と人権擁護の促進</li> <li>職員相互の資質の向上と各班間の連携</li> </ul>	毎月1回	支援課長、医務、各班チーフ、GH世話人、栄養士

虐待防止委員会	・利用者の人権擁護に基づく支援及び職員への研修	2回	荘長、関係職員
身体拘束適正化検討委員会	・身体拘束に関する適正化の推進及び職員への研修	1回	
感染症対策委員会	・施設における感染防止策の検討 ・新型コロナウイルス感染症対策関係	3回	
班会議	・支援内容、個別方針の検討・作成 ・入所者の環境整備と処遇向上の進展 ・職員相互の資質の向上と職員間の調整及び協力体制の進展 ・ケース会議(個別支援計画関係)	毎月1回	各班担当職員
給食会議	入所者の給食に関する必要事項の検討・協議	3ヶ月に1回	給食係長、管理課長 利用者、医務係長
行事会議	行事の企画・立案	随時	各行事担当

(3) 職員研修

月	研修内容	主催	開催	職種	
4	令和6年度障害支援区分認定調査員研修	名古屋市	名古屋市内	サビ管	
6	2024年施設実習に係る意見交換会	名古屋市	名古屋市内	支援員	
	令和6年度障害者施設職員研修会	名古屋市	オンライン	支援員	
	新規採用者研修	名古屋市	名古屋市奈	支援員	
7	事業所フェア2024	名古屋市内	名古屋市内	サビ管	
	施設見学・情報交換会ツアー	サポート協会	豊田市	サビ管	
8	福祉現場と専門職養成を繋ぐフォーラム愛知		オンライン	支援員	
	2024年第1回研修会	名古屋市社会福祉協議会	名古屋市内	支援員	
	虐待防止・身体拘束適正化研修	名古屋市社会福祉協議会	名古屋市内	支援員	
9	地域共生会研修	名古屋市社会福祉協議会	オンライン	支援員	
	障害福祉制度研修	名古屋市社会福祉協議会	オンライン	支援員	
10	就労支援従事者のための SST 研修	名古屋市社会福祉協議会	名古屋市内	支援員	
	令和6年度第2回強度行動障害研修	名古屋市社会福祉協議会	オンライン	支援員	
	令和6年度栄養士研修	名古屋市社会福祉協議会	名古屋市内	栄養士	
10	障害者の福祉的就労と日中活動サービスの支援のあり方 個別支援の充実と社会参加を目指して2024	名古屋市社会福祉協議会	オンライン	支援員	
	薬学基礎知識研修	名古屋市社会福祉協議会	オンライン	支援員	
	サビ管・児発管のための個別支援計画作成研修	名古屋市社会福祉協議会	名古屋市内	支援員	

11	感染症対策研修	名古屋市社会福祉協議会	オンライン	支援員
	ハラスメント防止研修	名古屋市社会福祉協議会	名古屋市内	事務員
	自閉症ネオカンファレンス 2024		県外	支援員
	対人援助技術研修	名古屋市社会福祉協議会	名古屋市内	支援員
	社会福祉施設における労務管理と法律制度研修	名古屋市社会福祉協議会	オンライン	事務員
	令和6年度名古屋市障害支援区分認定 調査員現任研修	名古屋市	名古屋市内	サビ管
	介護技術向上研修	名古屋市社会福祉協議会	名古屋市内	支援員
12	強度行動障害者支援者養成研修(実践研修)		名古屋市内	支援員
2	全日本自閉症支援者協会(岩手大会)		県外	支援員
	サービス管理責任者更新研修		オンライン	サビ管
3	TEACCH コラボレーションセミナー2025		県外	支援員
	行動問題を理解する応用行動分析の考え方 学校・施設・家庭で使える ABA		名古屋市内	支援員

### 3 利用者状況

#### (1) 入退所〈生活介護 定員50名〉

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
在籍	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37

#### 〈施設入所支援 定員40名〉

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
在籍	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37

#### (2) 入所期間別(37人)

令和7年3月31日現在

	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～7年未満	7～10年未満	10年以上
男	0	4	1	0	1	16
女	0	2	2	1	2	8
合計	0	6	3	1	3	24

#### (3) 年齢別(生活介護 37人)

令和7年3月31日現在

	20歳未満	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	合計	平均
男	0	2	0	4	10	5	1	22	51.09

女	0	3	1	3	6	2	0	15	47.80
合計	0	5	1	7	16	7	1	37	49.45

最高年齢…72歳(男性) 最少年齢…23歳(女性)

(4)障害別(生活介護37人)

令和7年3月31日現在

障害名	知的障がい	てんかん	ダウン症候群	自閉症	精神障害			
					統合失調症	心因性妄想	適応障害	てんかん性精神不安
男	22	9	1	7	1	0	0	0
女	15	4	2	4	2	0	1	0
合計	37	13	3	11	3	1	1	0

障害名	身体機能障害				
	聴力障害	言語障害	嚥下機能障害	体幹機能障害	視力障害
男	0	0	0	2	1
女	2	2	0	1	1
合計	2	2	0	3	3

(5)障害支援区分(生活介護37人)

令和7年3月31日現在

区分	「3」	「4」	「5」	「6」
男	0人	6	6	10
女	0人	2	5	8
計	0人	8	11	18

#### 4. 支援内容

<1 班>利用者19名

- ・昨年度同様に重度知的障害・行動障害の利用者を中心とし、木工棟で活動を行なう。今年度も重点的に利用者個々に合わせた自立課題の提供とスケジュールなどの視覚支援の充実、個別空間の充実を図った。自立課題では、個々に合わせた提供をしながら前期と後期と各利用者の進捗状況に合わせ2回入れ替えを行い利用者の作業能力向上に努めた。
- ・生活場面では居住空間の見直し、視覚支援を行い、活動、生活場面と連動しながらの支援を行う。また、生活場面では誤嚥性肺炎になりやすい利用者が数名見られたことから誤嚥性肺炎防止の為、看護師や栄養士と共に食事支援について工夫を図った。また、社会経験活動については、近隣地域の美容院や店での買い物を継続的に行いながら社会経験を積んでもらう。これまでコロナウィルス感染症予防の為、控えていた外食も再開し外出支援の充実を

図る。外出については個別の希望を聞きながら大須商店街や USJ 旅行など利用者の方の希望に合わせた個別外出も実施する。

#### <2 班>利用者 23 名

- ・リハビリが必要な利用者・高齢者(予備群)の方に対して、個々の状態に合わせ、身体機能持を目的に訪問リハビリの利用、個々に合わせた作業や課題、散歩、食事の提供の工夫等を行った。
- ・利用者個々に合わせ外注作業・自立課題・洗濯物の仕分け作業・施設内の清掃活動などに取り組んだ。
- ・意思表示を目的とし一部の利用者に対して SST(ソーシャルスキルトレーニング)を行った。
- ・コロナウィルス感染対策として控えていた外出余暇活動を、昨年度より段階を上げショッピングモールに買い物に出かけたり、美容院や床屋に行き社会経験を継続して重ねた。また生活の中での張り合いとなるようコンビニへ単独外出し、買い物の先での行動等について確認しながら地域との関りの再構築に取り組んだ。また熱田神宮・コンサート・リニア鉄道館・野球観戦など個々の嗜好に合わせた個別外出を実施した。

## 5. 文化・余暇活動

利用者一人ひとりが自分の趣味趣向を有意義に発揮できる場を提供し、自己表現できるように支援した。また、自治会活動を取り入れ、本人にとって楽しく生き甲斐となるよう自分の発想を展開していける力を発揮できるように支援した。

### (1) 荘生自治会

<総 会>役員会で議題を提示し全体で討議した。利用者から出された意見を基に生活の中に反映させた。

<誕生会>毎月 1 回、利用者全員及び職員で誕生者を祝う会を実施した。

<奉仕活動>毎月 1 回、自主的活動として施設内の環境整備を行なった。

<喫茶活動>余暇の充実の為、自治会役員を中心とした喫茶形式の催しを年 2 回実施した。

<その他>役員は利用者代表として責任を持ち施設生活を送る上で役割を分担して行った。

### (2) サークル活動

今年度は実施せず。

### (3) その他

利用者からの要望に対し適時必要な支援を行なった。

## 6. 行 事

・コロナウィルス感染症が 5 類になり、感染症対策は行いつつ、少しずつ保護者の参加ができるよう検討しながら企画した。

### <大行事>

実 施 日	内 容	実 施 状 況
-------	-----	---------

8月3日(土)	夏祭り	福寿荘講堂を装飾して祭り会場とし、夜店やポテトややきそばなどの屋台を設置し開催した。今年度は保護者の協力も得て、夜店のスマートボールの手伝いをしていただいた。キッチンカーも利用し、フルーツ削りのデザートを食べるなど、夏の風物詩を楽しんでいただいた。
10月26日(土)	運動会	福寿荘グラウンドで、保護者の方にも見学いただきながら、玉入れやボールを蹴ってゴールに入れる競技、ロープの付いたフラフープを手繰り寄せる競技など、利用者に合わせた競技を考案し行った。毎年利用者さんが楽しみにされているパン食い競走も行い、一日楽しんで体を動かせる機会となった。
11月19日(火) 11月26日(火)	外食(木曽路)	緑区にある木曽路にマイクロバスを利用して外食会を行った。2グループに分けて行い、普段とは異なる雰囲気の中、豪華な料理を楽しんで食事することができた。 一部、普通食の提供が難しい利用者さんに関しては別の外出企画を予定していたが、風邪の影響で今年度は実施ができなかった。
12月14日(土)	クリスマス会	講堂を装飾して行ない、スライドショーを見て今年一年を振り返り、演奏家によるコンサートの鑑賞をした。事前に利用者さんのアンケートを取り、希望した曲を生演奏で聴くこともでき、大いに盛り上がるステージとなった。 食事は華やかなパーティー食を提供し、プレゼント配布やケーキなど一年の締めくくりの行事として楽しんでもらうことができた。 今年度は利用者さんの体力面と集中できる時間を考慮し、午前からの開催とした。

〈小行事〉

実施日	内容	実施状況
4月初旬	花見	昼食やおやつを楽しみながら実施した。
7月初旬	七夕	短冊に願い事を書いて笹へ飾った。
9月1日(木)	炊き出し訓練	災害時の避難所を想定し、非常食を体験した。
3月30日(木)	慰労会	作業など頑張った利用者の方を表彰した。食堂・講堂に分かれ美味しい食事を取り、一年の労を労った。

## 7. 地域交流及びボランティア・実習生の受け入れ

感染防止の観点から、地域との交流は制限した。行事ではボランティアの受け入れを行った。実習については、社会福祉士実習(8日間)を2名、保育実習(10日間)4名をそれぞれ受け入れた。

## 8. 苦情相談

施設の福祉サービスに対する苦情の受付はなかった。

## 9. 給食

調理業務については、委託業者との連絡・調整に努め、利用者の嗜好等を考慮し適正な栄養の確保と共に盛り付けや味付け等、十分に配慮した。また、食品衛生にも細心の注意を払った。

なお、新型コロナウイルス感染症感染防止のため、食堂利用時の人数を半数とするなどの対策をとり、密な状態を解消した。

### (1) わくわくランチ(毎月1回)、選択メニュー(毎月1回以上)

給食の弊害である「与えられる」という食事意識を少しでも解消する為、バイキング方式などのメニューを積極的に取り入れた。それにより自らの選んだものを食べるという自己決定の機会を増やすと共にマナーの練習を行い、継続して「楽しい食事」を提供した。

### (2) 治療食

肥満食、刻み食に加え、疾病の状況に応じた献立を取り入れ健康面の配慮を行なった。

### (3) 栄養指標

#### ① 栄養摂取目標値

エネルギー	タンパク質	脂肪	Ca	Fe	VA	VB1	VB2	VC
1950 kcal	60 g	55 g	680 mg	8 mg	790 μg	1.0 mg	1.2 mg	100 mg

#### ② 栄養摂取状況

	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂質 (g)	糖質 (g)	Ca (mg)	Fe(mg)	ビタミン			
							VA (μg)	VB1 (mg)	VB2 (mg)	VC (mg)
4月	1943	73.0	50.9	281.1	694	13.3	718	2.45	1.21	116
5月	1944	72.3	51.6	280.9	653	13.2	634	2.26	1.19	115
6月	1963	72.8	54.8	277.8	684	12.9	645	2.30	1.24	119
7月	1863	73.2	52.7	281.8	685	13.1	715	2.40	1.24	116
8月	1961	73.2	52.3	280.7	681	12.8	648	2.18	1.21	114
9月	1973	73.1	52.8	283.9	695	13.2	655	2.38	1.23	115
10月	1981	76.1	55.3	277.8	736	13.6	693	2.36	1.27	109
11月	1912	71.6	50.2	276.4	682	13.0	647	2.31	1.21	115

12月	1939	74.4	52.7	275.2	678	13.3	658	2.27	1.24	112
1月	1970	74.0	52.6	282.9	694	13.2	714	2.29	1.27	123
2月	1916	72.7	51.2	274.7	688	13.3	653	2.32	1.21	116
3月	1925	73.7	52.0	273.8	685	12.7	645	2.22	1.19	109
平均	1949	73.3	52.4	278.9	688	13.1	669	2.31	1.23	115

③ 食品群別摂取目標

穀類	いも類	砂糖	油脂	豆類	魚介類	肉類
320	35	13	18	70	65	55
卵類	乳類	緑黄色野菜	果実類	淡色野菜	海藻	
40	200	120	100	230	6	

④ 栄養摂取状況

	穀類 (g)	芋類 (g)	砂糖 (g)	油脂 (g)	豆類 (g)	魚介 類(g)	肉類 (g)	卵類 (g)	乳類 (g)	緑黄 色野 菜(g)	淡色 野菜 (g)	果実 類(g)	海藻 (g)
4月	293.4	52.6	8.8	17.5	72.8	78.2	71.9	27.4	117.4	146.6	203.1	50.8	5.6
5月	293.0	46.0	8.9	19.3	57.3	76.3	74.6	31.3	111.3	141.7	209.8	84.3	5.0
6月	296.6	44.0	9.7	20.2	62.6	69.2	74.5	32.5	124.2	141.5	209.1	55.9	4.9
7月	299.4	56.9	8.5	19.3	70.2	79.3	71.2	34.1	123.8	149.4	200.0	55.5	5.1
8月	305.3	44.1	8.3	19.6	55.7	81.1	69.4	30.7	129.7	136.8	207.3	50.8	4.1
9月	288.9	54.7	8.3	18.8	61.6	70.4	78.8	28.0	131.1	141.5	209.9	58.0	6.1
10月	305.0	49.6	7.7	19.8	69.5	84.9	73.3	31.7	115.7	143.2	180.3	52.2	5.9
11月	296.3	48.4	8.8	19.3	53.4	81.0	65.2	30.7	127.5	139.8	203.8	50.5	6.8
12月	305.5	44.1	8.0	19.0	75.0	78.1	76.8	31.9	121.8	139.1	185.7	58.8	4.9
1月	296.4	47.4	10.4	17.9	57.8	78.1	73.7	34.3	125.1	148.4	203.8	63.9	2.9
2月	294.9	46.8	8.7	17.8	79.8	75.9	72.2	28.8	127.1	137.9	201.8	58.2	5.8
3月	298.6	46.3	9.3	19.7	64.5	84.0	72.8	26.4	126.9	133.5	177.3	63.7	5.2
平均	297.7	48.4	8.8	19.0	65.01	78.0	72.8	30.6	123.4	141.6	199.3	58.5	5.1

## 10. 保健衛生管理

(年間検診等実施状況)

月	検診等内容	利用者	職員
4	歯科検診（～3月火曜日実施）	入所者	—
5	職員特定健康診断、利用者定期健康診断（16日）	入所者・通所者	夜勤者等
6	耳鼻科検診（7日、14日）	入所者	
8	眼科検診（7日） 新型コロナワクチン接種（1日、4日）	入所者 入所者（希望者）	— 任意
9	眼科検診（3日、10日、17日） 新型コロナワクチン接種（26日、29日）	入所者 入所者（希望者）	—
10	職員・利用者定期健康診断（17日） 眼科検診（1日、22日） 新型コロナワクチン接種（10日） インフルエンザワクチン接種（17日、18日、22日、24日、29日）	入所者・通所者 入所者 入所者（希望者） 入所者	全員 — 任意 任意
11	口腔ケア研修（21日） インフルエンザワクチン接種（1日、5日、7日）	入所者	全員 任意
12	新型コロナワクチン接種（2日、3日、4日、5日、6日、11日、12日、17日）	入所者（希望者）	任意
1	新型コロナワクチン接種（7日）	入所者（希望者）	任意
2	救命講習		全員
毎月第4木曜日 嘱託医回診			

(年間入院状況)

性別	病名	入院先	入院期間
男	肺炎・腸炎	名古屋記念病院 八事病院	(3/15)～4/1 4/1～4/17
男	誤嚥性肺炎	名古屋記念病院	5/27～5/30
男	右大転子部剥離骨折 リハビリ目的での転院	名古屋記念病院 東名古屋病院	6/16～7/18 7/18～8/26
男	左大腿骨頸部骨折 リハビリ目的での転院	名古屋記念病院 八事病院	12/9～12/24 12/24～4/10
男	白内障手術	名市大病院	12/10～12/17
男	肺炎	名古屋記念病院	2/22～3/14

(感染症発生状況)

病名	人数	期間
新型コロナ感染症	16	(3/22)～4/9
インフルエンザ A 型	17	12/23～1/8
感染性胃腸炎	11	3/23～4/2

## 11. 短期入所事業・日中一時受入事業

居宅において介護を行う者の疾病その他の理由により、宿泊による短期入所を必要とする障害者の方の支援を行った。また、日帰りの支援を希望する障害者の方については、日中一時事業により受け入れを行った。短期入所事業、日中一時受入事業合わせての定員4名で延べ利用日数は128日であった。

(短期入所事業利用実績)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男性	3	3	2	3	1	1	1	0	0	0	0	0	14人
	18	31	25	27	9	9	9	0	0	0	0	0	128日
女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0人
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0日
合計	3	3	2	3	1	1	1	0	0	0	0	0	14人
	18	31	25	27	9	9	9	0	0	0	0	0	128日

(上段:実人数、下段:利用日数)

(日中一時受入事業利用実績)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男性	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12人
	5	6	4	1	2	5	3	6	5	5	5	6	53日
女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12人
	5	6	4	1	2	5	3	6	5	5	5	6	53日

(上段:実人数、下段:利用日数)

## 12. 地域生活支援活動 (グループホーム)

年間を通じ、新型コロナウイルスはじめ感染症感染防止に留意し、病気による静養、通院等、緊急対応を行ない、地域生活者の心身の健康維持に努めた。

## 13. 防火・防災管理

火災・地震等の災害対策については、入所者の安全を最優先とし、特に大規模災害を想定した防災体制の強化を計った。更に、各職員の責任分担を明確にした上、年間計画に基づく各種場面(日中及び夜間)を想定した防災訓練を行った。

<防災訓練実施状況>

月	訓練教育等種別	実施内容
4	通報・連絡 火災想定避難訓練	26日 火災想定避難訓練
5	職員 防災教育	防災設備・機器の取扱いや、防火・防災計画の説明及び指導
6	通報・連絡	20日 火災想定避難訓練

	火災発生想定避難訓練	消防組織表に基づき実施
7	消防設備点検	24日 消防設備点検総合点検
9	炊き出し訓練 健康福祉局防災訓練 通報・連絡 地震想定避難訓練	3日大規模地震が発生したとの想定 5日情報伝達訓練実施 19日 地震想定避難訓練
10	防災教育	非常電源装置の取扱い方説明
1	消防用設備点検	31日 消防設備機器点検実施
3	通報・連絡 火災想定避難訓練	27日 夜間火災想定